

エーアイ
AI

で

サムライキョウ
士業

ヒコニナ?

いつもお世話になっております。

皆様は人工知能(AI)についてどのようにお考えでしょうか。

AIの利用が広がるにつれ弁護士や弁理士などの企業法務に関わる士(サムライ)業から「定型的な独占業務はAIにとって代わられかねない」と危機を強めているようです。

以下は野村総研と英オックスフォード大学との共同研究による「10~20年後にAIにおいて自動化できるであろう技術的な可能性(2015年12月発表)」です。

| | AIによる代替可能性 | 資格合格率 | 主な業務 |
|---------|------------|-------|------------------|
| 弁護士 | 1.4% | 25.9% | 訴訟代理などの法律事務 |
| 司法書士 | 78.0 | 3.9 | 登記や供託に関する手続き |
| 弁理士 | 92.1 | 7.0 | 特許などの出願・登録手続き |
| 行政書士 | 93.1 | 9.9 | 官公署に提出する書類の作成 |
| 公認会計士 | 85.9 | 10.8 | 財務書類の監査・証明 |
| 税理士 | 92.5 | 15.8 | 税務書類の作成や税務相談 |
| 社会保険労務士 | 79.7 | 4.4 | 労務・社会保険に関する書類の作成 |
| 中小企業診断士 | 0.2 | 3.4 | 中小企業の経営コンサルティング |

合格率が一桁しかないような難関国家試験であったとしてもAIによる代替可能性は一部の士業を除き、とても高いですね。

こちらの結果から、弁理士が定型的な出願業務に、AIを導入しようとする動きもあるようです。

当方と致しまして「社労士……」というところなのであるが、書類作成等の多くはAIにとって替わられ、個々に柔軟な対応が必要なケースが、代替不可能となるのかなと思えました。今回は士業に関してのお話でしたが、他の代替可能な仕事もどんどん増えていくように思えてなりませんね。

メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。